

水稻の生育状況について③

令和6年7月3日

常陸太田地域農業改良普及センター

1. 気象について(日立市)

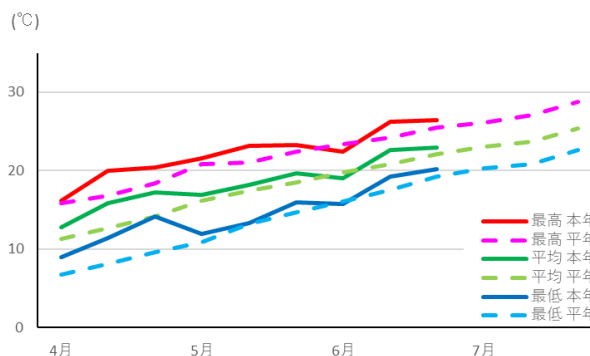


図1 気温の推移

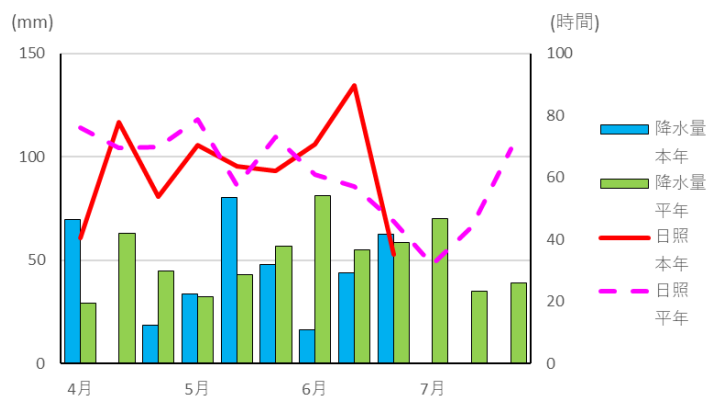


図2 降水量と日照時間の推移

- ・ 6月の気象は、上旬の気温はやや平年より低く推移しましたが、中旬以降は高温傾向で推移しています。気象庁の予報では今週いっぱい高温傾向が続く見込みです。
- ・ 梅雨入りが遅れたため(6月21日、平年比14日遅)、6月上中旬は降水量は少なく推移しましたが、梅雨入り以降は概ね平年並みの降水量となっています。

2. 水稻(コシヒカリ)の生育状況について(7月1日時点)

- ・ 水稻の生育は、定点調査結果からみると、草丈は、北茨城市では13%程度伸びており、一方、常陸太田市では5%程度低く生育しています。茎数は両地区とも平年より10%程度少なく、葉色は概ね平年並みで推移しています。
- ・ 6月中旬以降からの高温傾向により、早生品種や移植時期が早い水田では幼穂の形成が始まっているところもあります。
- ・ ほ場の中干しを終えたら、今後の水管理は間断かんがい(入水後は3~4日程度止水管理し、水が抜けたら1~2日後に入水を繰り返す)を行います。幼穂形成期には、田面を乾かさないようにしましょう。
- ・ 出穂15日前(幼穂長2~4cm)が追肥適期ですが、草丈が伸びている場合は倒伏防止のため、施肥量を抑えたり、追肥のタイミングを2~3日遅らせます。

調査地点 ・ 栽植密度	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉色 (葉色板)	SPAD
北茨城市 関本町関本中 15.6株/m ²	5月4日	66.3	28.9	450	3.9	34.9
	(5月2日)	(58.8)	(29.7)	(516)	(3.8)	(32.6)
常陸太田市 天神林町 15.9株/m ²	5月4日	61.4	29.7	472	3.6	34.6
	(4月26日)	(64.5)	(36.3)	(520)	(3.9)	(35.4)

注：カッコ内は過去5年間(R1-5)の平均値